

稲沢市まちづくりワークショップ／結婚・出産・子育てワークショップ 実施概要

稲沢市まちづくりワークショップ、結婚・出産・子育てワークショップについて、以下のとおり実施した。ワークショップの参加者については、

- ・将来のまちづくりに関するアンケート調査（稲沢市に住む16歳以上の方3,000名）
- ・若者の進路選択等に関するアンケート調査（稲沢市に住む高校2年生、大学2年生の学齢者約1,300名）
- ・結婚・出産・子育てに関するアンケート調査の対象者（稲沢市に住む16～39歳の若年者1,000名）

に開催案内状を同封して募集した。

■まちづくりワークショップ（第1回）

日時	平成27年10月 3日（土）13:00～17:00
場所	勤労福祉会館 第2・3研修室
内容	地区別でのまちづくりの方向を考えよう！ セッション①地区別でのまちの魅力は？課題は？ セッション②地区別で取り組むべきこと。地区別まちづくりのキャッチコピーを考えよう！
参加者	10代：2名 20代：6名 30代：5名 40代：2名 50代：5名 60代以上：16名 計36名

■まちづくりワークショップ（第2回）

日時	平成27年10月17日（土）13:00～17:00
場所	勤労福祉会館 第2・3研修室
内容	テーマ別でのまちづくりの方向を考えよう！ セッション①テーマ別でのまちの魅力は？課題は？ セッション②テーマ別で取り組むべきこと。稲沢市のキャッチコピーを考えよう！
参加者	10代：2名 20代：7名 30代：4名 40代：2名 50代：4名 60代以上：15名 計34名 (まちづくりワークショップ②とほぼ同じメンバー)

■結婚・出産・子育てワークショップ

日時	平成27年10月10日（土）13:00～17:00
場所	勤労福祉会館 第2・3研修室
内容	稲沢市が若い世代にとって暮らしやすいまちにするためには セッション①「結婚・出産・子育てしやすいまち」としての稲沢市の魅力は？課題は？ セッション②「結婚・出産・子育てしやすいまち」に向けて稲沢市の取り組むべきことは？
参加者	10代：1名 20代：2名 30代：7名 40代：5名 50代：2名 60代以上：2名 計19名 女性：15名

※各ワークショップにおいて、最後に全体討議を実施した。

ワークショップの様子



地区別ワークショップ（第1回）「地区別でのまちづくりの方向を考えよう！」結果

地区名	稲沢	小正	下津
魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的文化財がある ・ 交通の便がよく、若者が集まる街である 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲沢の玄関口 ・ 人口が多く、生活に便利 ・ 農工業が盛ん 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JRが近く、買い物が便利 ・ 地域力がある
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資源を活かしきれていない ・ 集客施設が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に東西方向の交通の便 ・ 知らない人同士が多い、防犯面 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪が多い ・ 交通事故が多い
キャッチコピー	若者が集う、歴史豊かな遊べるベッドタウン	こしょばゆい近さピリッとゆずる小正の心	新（進）化し続ける魅力ある下津
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学業施設周辺の集客施設の増設 ○ 若者による空き店舗の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仲間づくり（住民活動）への行政の支援・助成・居場所 ○ JRへの快速停車、名鉄への踏み切り時短働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の各行事（盆おどり等）の積極的参加 ○ 喫茶店の活用（たまり場） ○ 休耕田の活用（コスモス・ヒマワリ・レンゲ等）
地区名	明治	千代田	大里西
魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・ アピタ ・ 矢合国分寺、お寺 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑が多く静か！ ・ 子供にもお年寄りにも優しい町！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区唯一のキャラクターあり！ ・ 稲沢の玄関
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の便が少ない ・ 遊ぶ所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセスが悪い ・ 道路がわるい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店が少ない ・ 昔とあまり変わらない
キャッチコピー	実は良いスポットあるんですよ！	農業と工業のタッグ町（マッチ）、スポーツ、芸能の豊かな地区にしよう！！	世界のお客様をお迎えいたします
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人々との連携 ○ 自然との共存 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路の拡張と充実！！ ○ みんなが集まれる場所を作る！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光客と事業者用の 173mの高層ビル ○ キレイな川とおいしい魚の食べられるまち
地区名	大里東	祖父江	平和
魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の便が良い ・ 買い物に便利 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな自然 ・ 伝統あるお祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桜がきれい、多い ・ 閑静な住環境
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車が無いと不便 ・ 休耕地が多い（自然の良さに反し、草がぼうぼう） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通が不便 ・ 施設の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院がない ・ 交通が不便
キャッチコピー	お年寄りも安心して楽しくすごせる町	自然の里 リバーサイド祖父江	桜色に染まる平和なまち
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年寄りのこと、将来ある若者を大切に 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積極的な住民参加による地域活性化（サリオパークのNPO運営） ○ 魅力ある道の駅・川の駅を祖父江に！（ギンナンサリオパーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康になれるまちづくり（例：田畑で働く、遊歩道で散歩、らくプラの有効活用）

地区別ワークショップ（第2回）「テーマ別でのまちづくりの方向を考えよう！」結果

テーマ	娯楽・生涯学習	観光・文化
魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りが多い ・世界一のボウリング場がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史のある建造物 ・年間を通してお祭りが多い ・楽しめる施設が多い
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・足の便が悪い ・駐車場がせまい ・シャトルバスがない ・情報が取りづらい（広報に載らない習い事が多い・友達の紹介がメイン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの魅力のPR不足 ・市外の集客・宿泊が弱い
キャッチコピー	楽しく笑って生きていくために人生は娯楽から！	一度は来ていただきたい稲沢
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○紙ベースの情報発信（回覧板、市民センターで閲覧） ○先生を探してマッチングする仕組み作り ○働く人が利用しやすい夜間、休日の施設 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民・企業の参加と連携 ○PR・情報発信（インターネット&紙&拠点） ○まちあるき、フォトコンテスト等のイベント企画
テーマ	コミュニティ・市民活動	インフラ
魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・地域独自の町づくり活動が活発 ・地域（コミュニティ）を支えるお祭り文化（①矢合観音②国分寺マルシェ） ・世界に誇れるお花文化（①お抹茶文化②喫茶店文化） 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部、高速道路へのアクセスのよさ ・大小の公園が充実している ・地価、家賃が安い
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動全体をまとめる横のつながりが少ない ・地域の活動団体（NPO）の情報が不足 ・活動の施設が古い（リニューアルが必要、利用規則が厳しすぎる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の東西交通の悪さ ・調整区域の多さ
キャッチコピー	老いも若きもまず行動（声かけ）魅力発信 いなっピー！	稲沢市人口増加作戦!!
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の受発信を活発に（広報の動画発信…市民派ボランティアで） ○地域の魅力発信隊！（組織づくり） ○活動主体の創造（①子どもたちが参加する活動②大人のツアー企画） 	<ul style="list-style-type: none"> ○市長を交えた意見交換会 ○JR・名鉄との意見交換会 ○駅前商店街地権者との意見交換会
テーマ	高齢者・介護	子育て・孫育て
魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・隣・近所との連携 ・高齢者対応の環境・施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で子育て、孫育てができる ・社会資源はあるので、上手に活用できれば暮らしやすい
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が自立できる環境 ・高齢者⇔若い世代（教育⇔刺激） 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が少ない（ツールが少なく、手段も弱い） ・働く親が安心して子育て出来る環境が少ない
キャッチコピー	いくつになっても青春を、自立—自分で立って 歩くウォーキングシティ稲沢	人と自然～子育て・孫育て
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ウォーキング（稲沢シティマラソン開催に合わせたシティウォーキング併催、コースに市民病院、お寺を設定、稲沢八十八か所めぐり） ○寄り合いの場所設定（お寺、畑、公民館等高齢者の集う場所を提供） ○隣近所の声かけ（近所と畑での作業を基にした物々交換） 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者に端末を使う機会を作る（貸出しなど） ○ラインのいなっピースタンプを無料にして、フォローを増やす！いなっピーの名刺（QRコード付きでイチボチ、検索ワードを増やして上位に市役所が出てれば情報が取りやすい） ○市民病院で病児保育をして欲しい

結婚・出産・子育てワークショップ

「稲沢市が若い世代にとって暮らしやすいまちにするためには」結果

「結婚・出産・子育てしやすいまち」としての稲沢市の魅力・課題（年代別ワークショップ）

チーム名	若さ。(10~20代)	30代	マダムエイジ(40代~)
魅力	○生活の中に自然がある	○公園は実はある!! ○交通の便が良い!!(下津、小正)	○自然豊かで子育てにいい風土 ○自校給食が美味しい! ○待機保育はゼロ!!
課題	○稲沢市内の医療体制 ○出会いの場 ○保育(経済・周囲との関わり)	○保育事業の充実 ○小児医療・出産医療の充実 ○PRが弱い!!	○交通が不便 ○レギュラーな保育支援に弱い ○若い世代の交流の場がない

「結婚・出産・子育てしやすいまち」に向けて稲沢市の取り組むべきこと(テーマ別ワークショップ)

テーマ	取り組み
出会い、婚活	<ul style="list-style-type: none"> ○多角的な婚活(P R) (年齢別・属性別)ターゲット別の婚活、官と民で年に2回ほど婚活パーティー開催、婚活イベントの運営元の高度化、いなざわ婚活専用ホームページ 等 ○啓発活動(体験)(女性対象) 女性へ向けた「早く結婚するとどんな利点があるか」を示した冊子を作ると良い、「結婚しても女性が働きやすい市」PR 等 ○間接的な出会いの場が必要!! 若者が興味を持つような習い事を主催(ダンス・写真)、イベントのボランティアを若者で集める 等
働く人を応援したい!!	<ul style="list-style-type: none"> ○起業支援 子育て世代の目線で新しい働き方を 若い人達が働きたい場所を増やす企業誘致、子連れ出勤ができる企業を補助・誘致し稲沢の特色・税収につなげる、大きな会社を呼び込むより小さな会社をたくさん呼んでほしい、起業支援 等 ○企業の特徴をアピール 子育て支援事業所の紹介アピール 等 ○市役所の予算、定員の配分の見直し(例:鉄道高架等のハード整備→仕事と子育て両立支援等のソフト事業へ)
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ○おいしい給食レシピ本発行 おいしい給食のレシピ本を発行し、その印税で小学校の自校給食の復活 ○地域パワー活用(勉強・安全・高齢者・産む育) 放課後に地域の人が学校で教える、高齢者の登下校見守り支援、地域の中で子どもたちと大人の交流の場を増やす、赤ちゃんとママ&中学生とのふれあい 等 ○市民病院と病児保育、出産、施設、交流の充実 市民病院の中に病児保育、夜間保育への対応、稲沢市民病院にカリスマ小児科・産科医師を招き通院したくなる病院に、子どもを安心して入院させられる病院の拡充、乳児健診でママたちの交流を作る 等 ○兄弟の保育園一緒